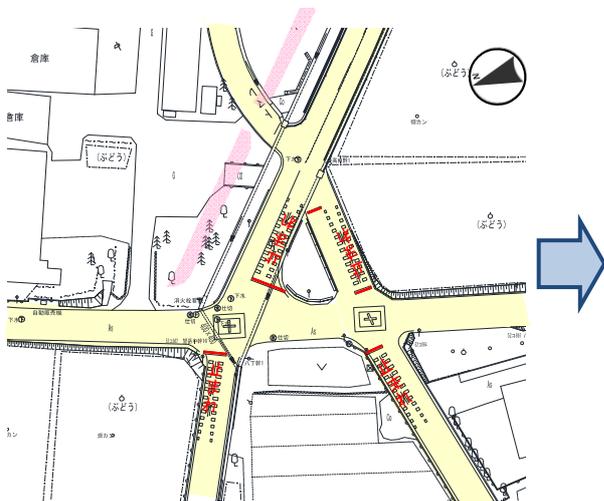


我が社が計画設計した、長野県須坂市野辺町ラウンドアバウトが開通

本年 9 月 1 日（月）須坂市野辺町交差点がラウンドアバウトとして開通しました。改正道路交通法の施行と同時に日本で初めての本格運用したラウンドアバウトとなります。重大事故を抑制し安全性を確保するとともに、信号が不要で経済性に優れ、災害時にも自立した交通運用を図ることのできる環状交差点として、今後も交通安全整備事業として注目されています。

当該交差点は、変則の 5 方向からの接続交差点となっており、見通しも悪く出会い頭事故が非常に多く発生していました。通常の十字交差や信号交差点として改良することは非常に困難で、安全な交差点整備を検討した結果、安全でエコなラウンドアバウトを採用することとなりました。当社にて、都市計画道路と合わせて当該交差点のラウンドアバウト導入検討、予備設計、詳細設計を実施しました。



以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <http://www.oriconsul.com/>

統括本部 三百田、伊藤



ごあいさつ

須坂市長 三木 正夫

本日ここに、関係者多数のご臨席のもと、野辺町ラウンドアバウトの開通式を迎える運びとなりましたことに対し、お祝いと感謝を申し上げます。

以前の、この通称「A交差点」は、変則的に5方向からの交通が近接した3つの交差点が交錯しており、出会いがしらの事故も多く、地元の皆様からも長年にわたり改善の要望が上がっておりました。現状での交差点改良や信号機の設置が難しい状況の中で、近年国内でも注目され、欧米諸国でも導入事例が多数ある、「安全、安心かつ効率的で環境にやさしいラウンドアバウト」を検討し、協議・調整を図りながら整備を進め、本日ついに開通式を迎えることができました。

これもひとえに、地権者の皆様、地元区の皆様、国会議員・県会議員の皆様、国土交通省、長野県、長野県警察本部、公益財団法人国際交通安全学会をはじめ、関係する皆様のご高配とご協力の賜物と、深く感謝を申し上げます。また、建設に携われた設計、施工者など関係各位の皆様のご理解とご協力により、立派に完成をいただきましたことに対しましても厚く御礼申し上げます。

開通式を迎える本日9月1日は、ラウンドアバウトが環状交差点として位置付けられた道路交通法が施行される日であり、法が適用された日本で第1番目に運用開始となる交差点となります。

野辺町ラウンドアバウトを安全・安心で快適な交差点として道路利用者・地域の皆様にご利用いただくとともに、愛着を持って接していただき、また須坂市のランドマークとしての機能にも期待しております。

結びに、当地区の益々のご発展と皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしましてあいさついたします。

1. 事業経過

平成24年	7月	公益財団法人国際交通安全学会第1回現地視察
	12月	事業に対する懇談会開催 事業同意を頂く
平成25年	1月	地形測量業務委託発注 黒田整地開発㈱須坂支社
	~3月	予備設計業務委託発注 ㈱オリエタルコンサルタンツ長野事務所
	6月	予備設計に対し説明会開催 道路法線の同意頂く
	10月	用地測量業務委託発注 ㈱テクノマップ長野
	~1月(H26)	詳細設計業務委託発注 ㈱オリエタルコンサルタンツ長野事務所
	12月	詳細設計に対し説明会実施 用地等の最終同意頂く
平成26年	1月	用地及び移転補償等の契約を全地権者、関係者と調印
	2月~5月	平成25年度(繰越)工事発注(1期工事) 施工者:須坂土建工業㈱
	5月~	平成26年度 工事発注(2期工事) 施工者:マツナガ建設㈱
	9月1日	野辺町ラウンドアバウト運用開始





2. 事業内容

- 交差点改良 ラウンドアバウト改築工
- 全体事業費 約170,000,000円
(国の交付金【防災・安全交付金】148,300,000円を活用)

3. 技術支援

公益財団法人国際交通安全学会

4. 事業担当課

長野県須坂市まちづくり推進部道路河川課



環道断面図



- ① 外 径：31.0m
- ② 路 肩：0.5m 【左側側方余裕幅】
- ③ 環 道 幅 員：5.0m 【主設計車両の走行幅員】
- ④ エプロン幅員：2.5m (7.5m-5.0m)
【副設計車両-主設計車両の車両走行幅員の差】
- ⑤ 路 肩：0.5m 【右側側方余裕幅】
- ⑥ 中 央 島：14.0m 【外径から環道幅員、エプロン幅員、路肩を減じる】

■長野県野辺町ラウンドアバウト航空写真



■ 開通式の状況





